各地のメーデー

安保体制打破さけぶ

全国で四百七十カ所・四百万人

緑の風を胸いっぱいにふくらませて第三十回統一メーデーは全国四百七十カ所に四百万人が参加して行われた。あいにく関東、中部地方は朝からドシャ降りとなったが、それでも中央会場の東京神宮外苑には三十万人が集まった。この雨も午後から上り、晴天に恵まれた西日本、北海道各地とともに、この日全国の町々にはデモ行進の赤旗の波と労働歌がこだました。かかげられたスローガン、プラカードは「安保体制打破」が一ばん多く「日中国交回復」「桜武装反対」「岸内閣打倒」がこれにつづき、地方選挙から参議院選挙を迎えるメーデーにふさわしかった。また「業者間協定反対・最低賃金制確立」「大巾賃上げ」「ILO条約批准」「労働基本権を守れ」など闘いの中から書きつけられたスローガンも多かった。とくに闘争中の組合、初参加の中小企業労組のジグザグデモが各地で目立ち、本年までの〝お祭りメーデー〟をふり切って〝闘うメーデー〟として祝われた感が強かった。

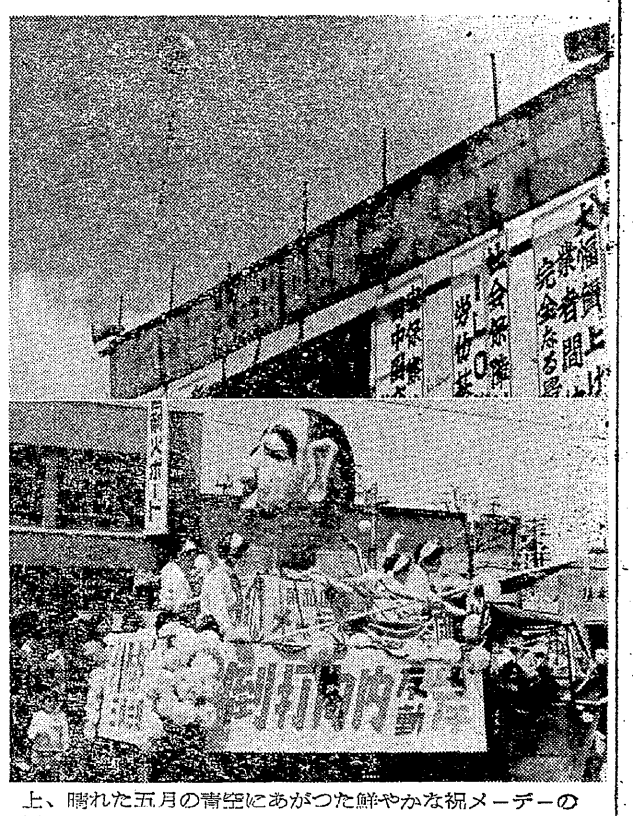
雨にもめげず30萬人

この力を参院選の勝利へ

【東京】東京の中央メーデーは午前九時半から明治神宮外苑におよそ三十万人（実行委員会発表）が集まってひらかれた。本降りの雨で会場はくるぶしまでうまるドロ沼。それでも頭からずっぽり雨具を着こんだ子供づれの家族もまじって「雨にもめげず」の労働者の団結を示した。会場正面の演壇には五色のハトが描かれ、それが五月雨にたたかれて一段と鮮やか。その上に赤、白、黄色の地に「大巾賃上げ、業者間協定反対、完全なる最賃制の確立」「安保条約改定反対、日中国交と領土の完全回復、岸内閣打倒」などの三本のスローガンが大書されている。午前八時半、凸版印刷のブラスバンドをふたあけに文化行事が始まったが出演者も雨にびっしょり。プログラムも半分にちぢめた。会場のプラカードやデコレーションには「安保改定反対、破棄」「砂川判決を守れ」「参院選の勝利へ」が圧倒的に目立ち、とくに闘争中の「主婦と生活社」やタクシー会社などの中小企業労組員のハチマキ姿が人目をひいた。

九時半、予定をくり上げて始まった式典は、議長団に太田薫（総評）滝田実（全労）岡本義久（新産別）柳沢錬造（中立）氏ら六氏をえらんだあと、社会党代表の河野国会対策委員長、共産党代表の野坂中央委員会議長、農民組合代表八百板正の各氏がそれぞれ「メーデーの力で参院選の勝利を闘いとろう」とのべ、労働者の団結と岸内閣打倒を強く訴えた。つづいて議事に入り、三本のメーデースローガンの確認と「生活と労働条件向上に関する決議」「社会保障制度、労働基本権確立に関する決議」「安保条約改定反対、日中国交と領土の完全回復に関する決議」「反動諸政策の粉砕と岸内閣打倒に関する決議」の四つの決議を可決したのち「メーデー宣言」を発表、十時すぎ式典をおわった。

このあとただちに雨中のデモ行進にうつった参加者は、東西南北中央の五コースを沿道の都民の拍手や、ビルの窓々からまかれる紙吹雪に赤旗をふりてこたえながら進んだ。昼すぎになって雨の上がった町々では一せいに蛇行デモが始まり、なかでも闘争中の中小企業労働組合や、春闘で最後まで闘った鉄鋼労働者の蛇行デモが際立った。また国会前や防衛庁前では雨中にもかかわらず激しいジグザグデモが行われ、大ミコシをかついだ日通労働者のハッピ姿や、金百貨の揃いのベレー帽やネッカチーフも行進に色どりをそえていた。こうしてデモ行進は午後三時までつづけられた。



上、晴れた五月の青空にあがった鮮やかな祝メーデーのアドバルーン　下、大牟田市内を行進する仮装デモ隊

第30回メーデー中心スローガン

☆大巾賃上げ、業者間協定反対、完全なる最賃制の確立！

☆社会保障制度の確立、ILO条約の批准、労働基本権を守ろう！

☆安保条約改定反対、日中国交と領土の完全回復、岸内閣打倒！

教組、全逓が蛇行デモ

【大阪】今年のメーデーからはじめて森之宮の中央公園が中央会場として使われた。八時頃にはすでに二十数本のアドバルーンが空高くゆれ、正面演壇上には三十本の赤旗がなびき、八時半頃からぞくぞくと入場、午前十時半には二十一万人（実行委員会発表）が勢ぞろいした。開会は九時三十分、大阪城を背景にした大会上空に五十発の打ち上げ花火がサク裂、白煙のなかから大きな「祝メーデー」の旗が舞いおちる。空には飛行機「総評号」が乱舞して「メーデーおめでとう」を呼びかけ、空襲呼応しての立体メーデーとなった。

大会は十時から議事に入り、全大阪の労働組合から選ばれた十九人の代表がつぎつぎに議案を提出、「日中国交回復」「安保体制打破」など十九の提出議案を可決、「賃上げ、時間短縮、労働強化反対全国一律の最低賃金制で生活水準を引上げよう」などの中心スローガンと七つのサブスローガンを満場の拍手で確認、大会宣言が読みあげられた。

十時四十分から行進に移ったデモは七コースに分かれ、市民の歓呼と、ビルの谷間の紙吹雪とテープの中を元気よくジグザクデモをおこない、午後三時前後には各コースとも無事に終った。とくにデモの中では勤評を闘った大教組の〝民主教育を守れ〟〝全逓労組の〝ILO条約を即時実施せよ〟などのプラカード、デコレーションでは〝岸内閣を打倒せよ〟〝安保反対・日中の国交を回復せよ〟など、政治スローガンが多く、地方選挙から参議院選挙に向って進む闘いの中でのメーデーにふさわしいスローガンが圧倒的に多かった。

一方府下では堺、高槻、岸和田、八尾など十四地区に合計八万人（メーデー実行委員会発表）が参加して地区メーデーを開き、全日本海員組合大阪支部は大型モーターボート八隻で水上デモを行ったのをはじめ、総同盟大阪自動車運輸労組がトラック、バス、タクシー五十台で大阪―堺―八尾―布施―守口までの〝機動デモ〟を行った。

晴天にめぐまれ九万人

【京都】夜来の雨もすっかりあがり、午前九時頃からプラカード、組合旗をかかげた労働者は、二条城前広場の大会々場に続々集結、十時半には九万人（実行委発表）が集まった。大会は議長団選出のあと知事のメッセージを受け〝全世界の労働者は平和と繁栄を願って団結しよう〟の大会宣言を行なった。

プラカードには〝安保条約廃棄〟〝日中国交回復〟〝ILO条約批准〟などがめだち、正午のサイレンを合図に約九万の労働者は北コースと南コースに分かれ、都大路をデモった。

二万五千人が市中デモ

【神戸】中央会場の神戸兵庫区湊川公園では川崎重工、新三菱重工などの三十五組合二万五千人が朝からぞくぞく労働歌を高唱しながら集った。午前十時半から大会がひらかれ、議長団を選出したあと「非武装の都市宣言を行え」などの議案を満場の拍手で可決した。このあと十一時半から川崎重工業労組のブラスバンドを先頭に市内目ぬき通りを行進したが、このほか兵庫県下では尼崎、西宮、姫路などで二十八会場に十二万の労働者が集り、大会やデモを行った。

雨をついてデモ

【横浜】横浜地区メーデーは約二百団体三万人が参加して、田植えをおもわせるドロンコの横田公園で午前十時からひらかれた。大会は河村実行委員長のあいさつにつづいて社、共両党から「岸内閣を打倒しよう」とのあいさつがあり「全ての職場と地域に統一行動を」の大会宣言を発表、十一時から桜木町と能明寺の二コースにわかれて行進した。今年は「日中友好」「安保条約反対」のプラカードが目立ち、雨をついたたくましいデモが市民のかんげいをあびた。なお川崎臨海工場の広場でひらかれた川崎地区メーデーは三万五千人が参加したが、今年は未組織の町工場の労働者の初参加が目立った。鶴見地区は潮田公園でひらかれ七十六組合二万人が参加、また厚木公民館でひらかれた厚木地区メーデーは、「労農市民との提携強化で、不当弾圧をはねかえそう」などを決議した。

県知事を先頭に

【福岡】快晴にめぐまれた福岡県下のメーデーは福岡市をはじめ県下三十カ所、三十万人が参加しておこなわれた。福岡市東公園でひらかれた県統一大会には七十単産四万人が参加、国鉄志免鉱業所払下げ反対、安保条約改訂反対、〝主婦と生活〟〝労組支援などを決議正午から三隊にわかれてデモ行進をおこなった。大会には先の知事選で民主統一陣営から当選した鶴崎県知事も参加、デモの先頭に立った。

大牟田地区は四万五千人が集って大牟田市百林公園でひらいたが、三池労組の不当解雇反対闘争を反映して闘うメーデーの気合にあふれていた。

鶴舞公園に十万人

【名古屋】愛知県中央メーデーは雨をついて名古屋市鶴舞公園でひらかれ約十万人が参加した。大会は「安保条約改定反対、日中国交と領土の完全回復、岸内閣打倒」の宣言を発表、このころから雨もあがって、八尾公園、金山体育館など四コースにわかれたデモ行進は風船、花の輪にかざられて華やかなものであった。今年は「岸内閣打倒」とならんで、飾りたての華やかさとは反対に職場の圧迫をはねかえそうとする労働者の姿が目立った。また会場では松川被告の無罪釈放運動に一万四千七十円のカンパがよせられた。これは名古屋ではじめてのことである。

目立つ「勤評反対」

【札幌】晴天にめぐまれた北海道の全道統一メーデーは、札幌市大通西八丁目広場で約四万五千人が参加してひらかれた。大会は午前九時半からおこなわれ「安保条約改定反対」などを決議したあと、四コースにわかれて市内をデモ行進した。今年は社会党道政が自民党に転換されたため、勤務評定実施が必至となり、これが反映してプラカードには「勤務評定反対」が目立ち、また「砂川判決を支持しよう」（北海道新聞労組）が人目をひいていた。

原爆慰霊碑に黙とう

【広島】快晴にめぐまれた広島地方メーデーは広島市平和公園で二万人が参加してひらかれた。大会は原爆慰霊碑に黙とうをしたのち「安保条約改定反対」「参院選をかちとろう」などの大会宣言をおこなって市中をデモ行進した。

小川町前町長山西きよさんも参加

【水戸】茨城県下の統一メーデーは小雨降りしきる中で水戸の県中央大会をはじめ県下十九カ所で約一万人が参加してひらかれた。水戸の県中央大会には約二千人が集ったが、百里基地の小川町前町長山西きよさん、岩上新知事も参加、最賃制の確立、安保改定反対などを決議し市内目ぬき通りをデモ行進した。今年は「原子力を軍事に使用するな」のプラカードをかかげた東海原研労組「在日朝鮮人の国時爆弾を開始せよ」をかかげた朝鮮総連県中央支部など初参加が目立った。日立地区は日立公会堂で約千五百人が家族ぐるみで参加、午後からはコロンビア歌手などによる歌謡曲大会を行った。

海外のメーデー

春を楽しむモスクワ市民

ソ連

タス電によるとモスクワのメーデーは一日、恒例の赤の広場で午前十時、陸軍士官学校生徒の行進で開始された。

パレードに先立ってマリノフスキー国防省のソ連将兵むけメーデー布告が発表された。スタンドは多数のモスクワ市民、工場やコルホーズの模範労働者や農民、文化芸能人、政府機関の幹部、大衆運動活動家、五十カ国から来た外国代表でうめつくされた。

壇上にフルシチョフ首相、ミコヤン副首相など政府、党の最高幹部が姿をみせるや、一行を熱烈に歓迎する嵐のような拍手が起った。約四十分にわたる軍事パレードにつづいて勤労者のデモが行われたが、例年どおりスポーツマンの一隊が先頭にたった。この一隊が壇上正面中央にさしかかると突然隊列が開かれ、子供たちの一群がとびだして壇上にかけより、大きな拍手がおこるなかで春の花束を政府・党の指導者にささげた。

工場やコルホーズの労働者や農民は「七カ年計画の早期達成」を誓うスローガンや新七カ年計画開始第一カ月の成果を伝えるプラカードをもって参加、勤労者のデモ行進は二時間にわたってつづけられた。このロモスクワは暖い太陽の照るうららかな日和にめぐまれ、モスクワっ子はどっと街頭に出て夜おそくまでメーデーをお祝いした。

増産完遂を誓うパレード

中国

新華社電によると、北京のメーデーは恒例の天安門広場で五十万以上の市民の参加のもとに盛大にくりひろげられた。天安門のスタンドには毛沢東中国共産党主席、劉少奇新中国主席ら政府党首脳がたち、デモ隊の歓迎に応えていたパレードは各スローガンを書きつらねた色とりどりの旗をもった旗手の一団を先頭に二時間にわたってくりひろげられた。一千八百万トンの鉄と三億八千万トンの石炭生産計画完遂を誓う北京の鉄鋼・炭鉱労働者のパレードにはスタンドの上から嵐のような拍手がおくられた。またパレードの圧巻は人民公社社員の一団、はなやかに着かざった農民たちは綿花の枝を手にして「人民公社はすばらしい」の歌をうたい、収穫の踊りを踊りながら行進した。

なお来賓席には柳本総評常幹を団長とする日本労組訪中代表団の顔もみえ、五十カ国、七百余人の代表が参加した。またこの日世界の屋根チベットでも、はじめて大々的にメーデーの祭典が行われた。

フランス

フランス政府は一日のメーデー集会とデモを禁止したが、外電を総合するとフランスの労働者は全国をおおうストライキの波の中でメーデーを迎え、この日には十万人の労働者が街頭に進出してデモ禁止令をけってデモを敢行した。

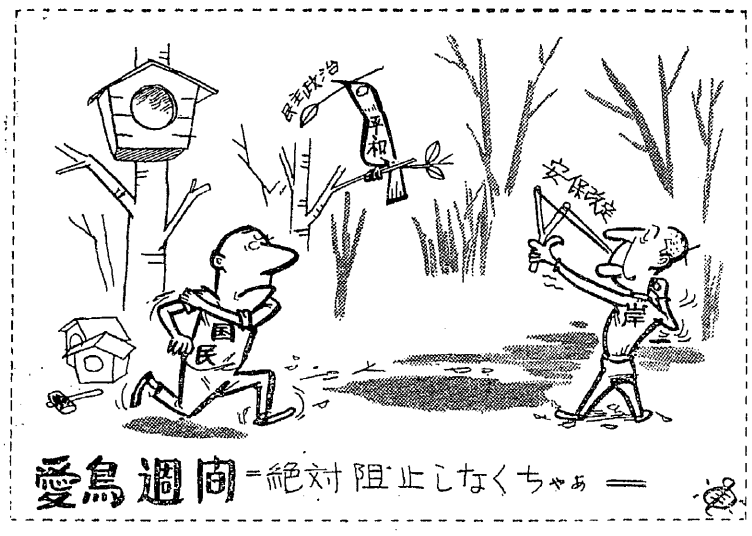
東独

AP電の報道によると東ベルリンのメーデーは二十五万以上の市民の参加のもとにデモが行われた五月の外相会議を前にして「西ベルリンを非武装自由都市に」のスローガンがかかげられた。

スイス

ジュネーブ発タス電によるとスイスのベルンなど各都市でもメーデーの祝典が行われ、グラスでは労働党と社会民主党主催のデモが行われた。また労働者の権利、平和、原水爆禁止、労働時間の短縮婦人の参政権を要求して、〝統一〟のスローガンのもとに労働組合の集会とデモが行われた。

メーデー行事は一切禁止

南鮮

一日夜の日本向けモスクワ放送によると、南朝鮮におけるメーデー行事は李承晩政府によって一切禁止された。